

# 夕日が演出する極楽浄土の世界～みどり市の江戸彫刻を訪ねて～ 小平山教光院正福寺

寺院に描かれる天井画は、仏教不殺生の教えにより、通常、動物は描かれませんが、時の住職「典翁大和尚」のすべての人を救いたいという強い願いが込められています。描かれた霊獣や動物から、現代へ通じるメッセージを読み解きます。

○公開期間

令和4年12月3日～3月26日 **土・日限定公開**

※12月31日、1月1日及び祝日を除く

○時間

受付：15時00分～15時10分 解説：15時10分～16時30分

※申込は不要ですので、直接現地へお越しください

○拝観料

文化財保護協力金500円をお願いしています。

○駐車場

①正福寺駐車場（みどり市大間々町小平768）

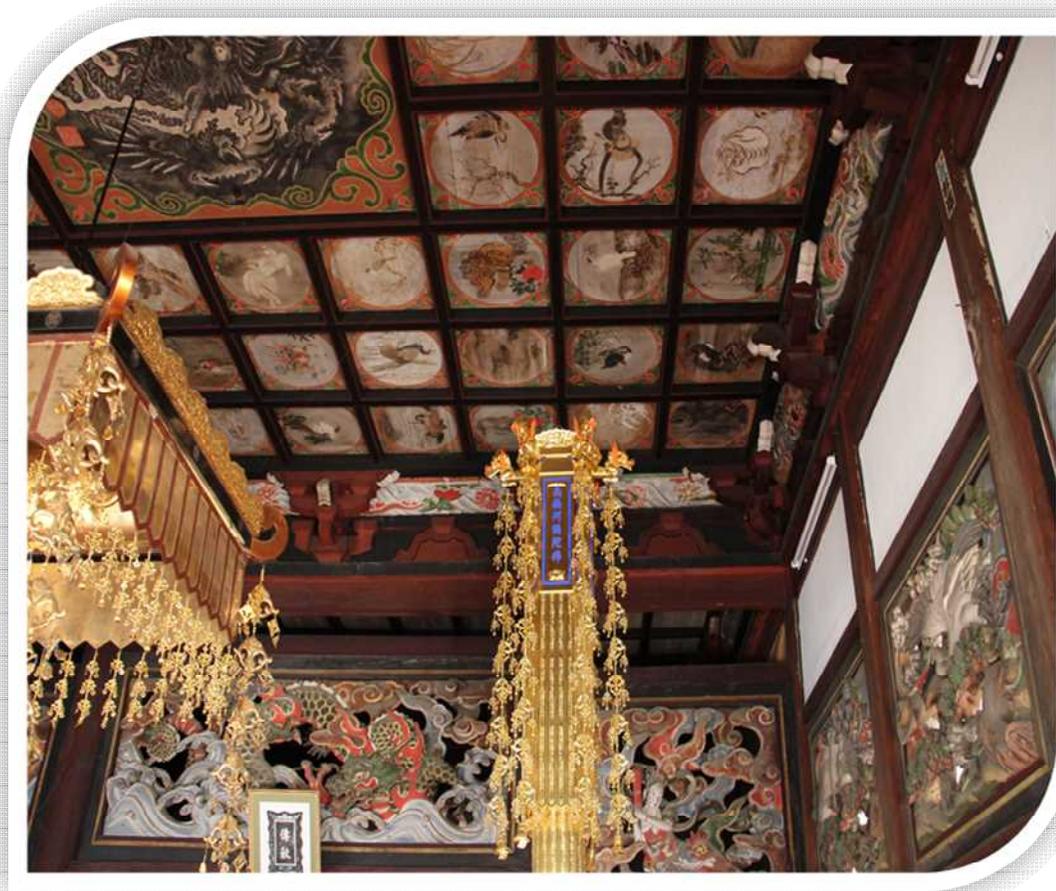
②小平の里 親水公園駐車場（みどり市大間々町小平784）



Google マップ

○その他

- ・感染症対策のため来場時は**マスクの着用**をお願いします。
- ・文化財保護のため**ライトアップ**はいたしません。
- ・堂内の**撮影は一切禁止**です。
- ・**晴天時のみ公開**します。
- ・降雪等により**道路事情が悪い場合は中止**となる場合があります。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況により、**予告なく中止**となる場合があります。



問い合わせ先

みどり市観光ガイドの会

事務局（電話）0277-76-1270（観光課内）

※休日のお問合せは小平の里（0277-73-2006）へ

# 正福寺の天井画と欄間彫刻

〈東照宮由来の建築装飾の技法が花開く〉

小平山叡光院正福寺 - 建立：明和7年(1770年) -  
内部装飾は、創建当時のままの姿で  
群馬県近世社寺総合調査報告書 寺院編 R4.3月刊に本調査結果あり

## 正福寺の天井画の特徴は、動物がモチーフの珍しい構成

(仏教は殺生を嫌うので、一般には植物や吉祥の霊獣が描かれる)

### 極めて珍しい由緒落款(角印)

「水田に日あり水あり」



雨乞・干乞い掛け軸「衆生済度皆求成仏道」



法華一乗の教え = この世の極楽浄土 ⇒ 天井画  
(水田に種をまくと芽が出るように、仏種が育つ意)

### 念仏による布教

「念仏衆生摂取不捨」

(雨乞いの法により降雨 = 霊験) ⇒ 秘仏 (阿弥陀如来)



法華曼荼羅思想による

阿弥陀如来、観音菩薩、地藏菩薩の3尊仏



弥勒菩薩出現までの衆生救済

霊獣：麒麟 雉(雌雄)(2) 肘長猿の親子(2) 白鷹 竹に雀(3)



宝珠を持たない龍

笙を持つ天女

鶴に松竹梅(2枚1組)

## 天井画 この世の極楽浄土

- ・ 多種多様な動物の共存共栄
- ・ 個(1)、夫婦・親子(2)、家族(3)  
※数が意味するもの
- ・ 霊獣：麒麟、獏 → 平和の象徴
- ・ 解豕(カヅ) = 極楽浄土の裁判官

## 欄間彫刻

○天界を賛美する阿吽一對の動物

- ・ 鶴、松竹梅…長寿
- ・ 鳳凰、桐…有徳の天子
- ・ 金鶏、芙蓉…夜明けを告げる
- ・ 孔雀、松竹…「三毒」(貪・瞋・痴)の浄化

○宝珠を持たない竜

この先に「往く浄土(死後の浄土)」があることを示唆